

## 特記仕様書

令和7年度 道路メンテナンス補助 橋梁長寿命化修繕事業

橋梁定期点検業務委託 駒ヶ根市 市内一円

### 第1条 適用

本特記仕様書は、「令和7年度 道路メンテナンス補助 橋梁長寿命化修繕事業 橋梁定期点検業務委託 駒ヶ根市 市内一円（以下、「本業務」という。）」に適用する。

なお、本特記仕様書は「設計・測量・調査業務委託関係集 長野県建設部（令和6年10月改訂）（以下“委託関係集”という）」を補完するものである。また、本特記仕様書及び委託関係集に明記なき不明な事項は監督員と協議するものとする。

### 第2条 履行場所

本業務の履行場所は、駒ヶ根市 市内一円とする。

### 第3条 履行期間

履行期間は、契約の日から設計書に記載された日までとする。

### 第4条 業務の目的

本業務は、道路橋について、状態の把握と記録を行い、道路橋毎の健全性の診断を行うことを目的とする。

### 第5条 定期点検の体制

道路橋の定期点検を適正に行うために必要な知識及び技能を有する者がこれを行う。

状態の把握、健全性の診断において適切な評価を行うために、定期点検を行う者が道路橋の構造や部材の状態の評価に必要な知識および技能を有することとする。

本業務管理技術者は以下のいずれかの要件に該当することとする。

- ・道路橋に関する相応の資格または相当の実務経験を有すること
- ・道路橋の設計、施工、管理に関する相当の専門知識を有すること
- ・道路橋の点検に関する相当の技術と実務経験を有すること

### 第6条 使用する技術基準等

本業務で使用する技術基準等は、次によるものとする。

- ・道路橋定期点検要領 令和6年3月 国土交通省 道路局
- ・長野県道路橋定期点検要領 令和7年4月 長野県建設部道路管理課を準用する。

## 第7条 対象道路橋

本業務の対象道路橋は「数量計算書」に示す。（「数量計算書」は業務委託契約書第1条の「設計図書」とする）

対象施設の規格・型式等により点検内容等に変更が生じた場合または、点検数量に変更が生じた場合は、その都度発注者と協議するものとする。

## 第8条 計画準備

受注者は、橋梁定期点検に先立って、以下の事項により計画準備を行うものとする。

### (a) 業務計画書作成

受注者は、契約後速やかに業務実施体制を整えて、業務上必要な資料収集をしたうえで、業務計画書を作成し発注者に提出するものとする。

業務計画書には下記の事項を記載するものとする。

- ① 業務内容
- ② 業務実施方法
- ③ 業務実施体制
- ④ 業務工程表
- ⑤ 連絡体制（緊急時含む）

### (b) 実施計画書作成

受注者は、現地踏査による調査記録等作業上必要な資料収集をしたうえで、詳細な橋梁毎の点検計画となる実施計画を作成し、発注者の承諾を得なければならない。また、関連資料の収集を行うものとする。

実施計画書には次の事項を記載するものとする。

- ① 業務内容〔点検数量表〕
- ② 点検対象位置図
- ③ 業務実施方針〔点検方法〕
- ④ 実施体制〔連絡体制（緊急時含む）〕
- ⑤ 実施工程表
- ⑥ 仮設備計画
- ⑦ 使用建設機械
- ⑧ 安全管理計画（交通規制を含む）
- ⑨ 環境対策
- ⑩ その他発注者が必要と認めたもの

なお、実施体制については、適正な点検作業班を編成しなければならない。

## 第9条 現地踏査

橋梁定期点検に先立って、現地踏査を行い、橋梁の変状（劣化・損傷等）程度を把握する他、橋梁の立地環境、交通状況、交通規制の要否、近接手段等について現場の概況を調査して記録（写真撮影含む）する。

## 第10条 状態の把握（点検）

「道路橋定期点検要領」に基づき、橋梁点検車、点検用足場、あるいは梯子等を用いて、橋梁点検を近接目視にて行う。必要に応じて橋梁台帳の記載事項を補完する現地測量を行う。

また、必要に応じて機械・機具を用いる場合は、それらの機器及び使用の範囲等について発注者と協議するものとする。

点検作業時に、第三者被害の可能性のある損傷等（うき、剥離部）が確認された場合は、応急措置等臨機の措置を行うと共に、遅滞なく発注者に報告を行うものとする。

## 第11条 点検調書作成

点検結果をもとに、国土交通省(道路局) 道路橋定期点検要領に定められた「点検DB 登録用様式 道路橋記録様式(令和6年3月)」に基づき、点検調書を作成するものとする。

また、長野県 建設部 道路管理課 長野県道路橋定期点検要領に定められた「記録様式[県様式]（令和7年4月）」に基づき、点検調書を作成するものとする。

## 第12条 報告書作成

本業務において作成した資料の整理、取りまとめを行う。取りまとめを行う資料は、発注者との協議資料のほか、本業務を遂行するうえで作成した全ての資料（撮影した全ての写真も含む）とする。

なお、点検調書等は定期点検・カルテ入力システムに入力することによりデータ作成を行うものとする。

## 第13条 打合せ等

打合せは、業務着手時、各作業の中で主要な区切りの時点及び成果品納入時とする。なお、打合せ等は、土木設計業務等標準歩掛に基づき計上している。

### (a) 業務着手時

業務計画書等をもとに、調査方法、内容等の打合せを行うとともに、業務遂行のために必要な資料の貸与を行う。

貸与予定資料：橋梁台帳・過去の点検記録・その他資料。業務終了後は速やかに返納するものとする

### (b) 中間打合せ

「現地踏査終了時」及び「現地での点検終了時」において、中間打合せを2回行うことを標準とする。

### (c) 成果品納入時

本業務のとりまとめが完了した時点で打合せを行うものとする。

## 第14条 道路使用許可申請

道路使用（通行止め申請含む）許可申請を行う場合は、申請に必要な書類等を作成するものとし、必要に応じて地元区長の記名・押印した同意書を添付して発注者の承

諾を得た後、道路使用許可申請を行わなければならない。

## 第15条 成果品の提出

本業務の成果品は以下のとおりとする。

### ① 報告書

本業務において作成した資料や打合せ記録簿、点検表記録等を取りまとめた全ての報告書を2部提出。なお、各報告書には電子媒体を添付するものとする。

### ②電子媒体（CD-R、DVD）内容

- ・各報告書内容をPDF化
- ・本業務で作成したWord、Excel及び作図したCAD（種類SFC）
- ・写真集（撮影した全ての写真）

## 第16条 安全管理

受注者は、交通状況に即した適正な保安施設を設けるなどして、安全管理に努めるものとする。

## 第17条 沿道対応

本業務実施中、沿道の住民及び道路利用者より苦情があった場合には、受注者において丁寧に対応するものとし、その結果を発注者に報告するものとする。

## 第18条 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容を、みだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

## 第19条 受注者の義務等

橋梁台帳及び点検者が必要な資料等の貸与については、発注者と協議して貸与を受けるものとするが、発注者に借用書を提出するものとする。

緊急対策が必要な場合は、必要な部位に対する詳細調査等の方法及び緊急対策方法の概算数量、並びに概算金額等の提案を行わなければならない。

## 第20条 その他

歩掛については、【「橋梁定期点検業務等積算基準（暫定版）」令和5年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課】を準用して積算している。

## 第21条 疑義

受注者は、本業務の実施にあたり疑義が生じた場合には、発注者と協議を行うものとする。